

納会 富士山 吉田大沢

5月18日～19日

メンバー L西川、小森宮、柳沢、橋本、菅沼、鈴木(柳)一家、遠山、
重田、古川、角田、山崎、矢野、島田 14名(18日～19日)
伊藤(雄)、猿田、蔵田、白沢、石垣、手塚、田村、沢 8名(19日)

5/18 晴

大月で仮眠、富士急の始発に乗り、河口湖からタクシーで5合目着。
観光客でにぎわっている。雪は全く見えない。林道の少し先にテント
をはり、ゆっくりと出発する。吉田大沢に入り、6合目でようやく雪の
上に出る。南面より特に急傾斜にはみえない。休み休み登って
7合目(2900m)とおもわれる岩のそば。頂上はすぐ上のように見える
が、登山は長いだろう。全体的に頂上をめざす意欲が感じられず、
ガスも出てきて、ここまですり打切る。さすがに下りは早い。テント場にも
どると国際観光地だけあって外国人も多く人通りは絶えない。馬
車も通る中、にわかに見られたこのテント村が最大の見世物になっていた
ようだ。夜は重田氏持参の特大大鉄板での焼肉パーティー。

5/19 曇

天気はくずれそうだがくずれない。ともかくも出発すると6合目で
日帰りのメンバーも追いついてきて合流した。昨日と同じルート
を登るが、今日は雪は硬い。曇天で日があたらずゆるむ見込はなさそ
うだ。7合目付近では表面の下に透明な氷が見える。昨日と同じ岩
まで登り、落石をさけて一人尾根筋に移る。まだ登るのは可能だ
が、下りの危険を考慮して今日もここまですりした。すべりはじめると
あっという間に下りてしまった。有志のみもう一度登りなおす。7
合目近くなると風がよくて雪つぶてがあたり、なかなかせびしい。
なにもない斜面なのでスキーをはくのに苦勞する。下りは一気に
おりる。かくして昼ごろにはすでに下山。伊藤(雄)氏がわざわざ迎え
にきてもらって、全員車で帰れることになった。車を運転して下さ
った方々、重い装備を運んで下さった方々、どうもありがとうございました。

(西川記)

コースタイム

5/18 テント 10:15 → 6合目(2500m) 11:00 → 7合目(2900m) 12:40/13:20
→ 6合目 13:50 → テント 14:30
5/19 テント 6:50 → 7合目 8:55/9:40 → 6合目 10:00/11:20
→ テント 12:10